

トピックス

- 新外来棟がオープンしました
- これからの工事の予定
- 地域医療支援病院になりました
- 特殊歯科・口腔外科が開設されました

- 女性総合外来が開設されました
- ニュース
 - ・ 武蔵野市地域医療連携フォーラムが開催されました。
 - ・ コンサートが開かれています。
 - ・ よろしくお願いたします。

新外来棟がオープンしました

3月20日から、新しい外来棟での診療を開始いたしました。この外来は三つのコンセプトに基づいて建てられました。

- ① 患者さんとともに歩む病院
 - ② 地域に開かれた病院
 - ③ 高度な専門的医療を提供する病院
- 患者さんとともに歩む病院として、設備的側面では、エスカレーター、パティオ（中庭）、情報ラウンジをご用意しました。（情報ラウンジの本格的オープンには、もう少しお

待ちください）

運用面では、当日予約制の導入、表示機による順番のご案内、フロア案内係によるご案内などにより、ご利用していただきやすい病院を目指しております。

地域に開かれた病院として

医療連携を推進するために、医療連携室など連携担当部門の充実を図りました。また、災害時などには地域の総合防災センターとして機能するように作られています。高度な専門的医療を提供する病院として

特殊歯科・口腔外科、血液・腫瘍内科、女性総合外来の開設、循環器疾患・呼吸器疾患の診療について内科と外科の外来の近接配置、外来化学療法室の整備などがあげられます。

移転当初は、いろいろ不手際がありご迷惑をおかけいたしましたことをお詫び申し上げます。また、所期の目標には達していない点多々あり、みなさまのご期待に沿える病院となるべくいっその努力をしてまいります。みなさまのご意見、ご指導をよろしくお願いたします。

これからの工事の予定

本年秋の完成を目指して、1番館外来の跡地を救急救命棟として整備中です。完成しますと、救急患者さんの診療について、①全体スペースが広がる、②診察室が増える、③医療機器が整備され診療内容がもっと充実する、④待合スペースなどのアメニティが改善する、など当院の救急医療は飛躍的に向上いたします。

その後も整備工事がいま暫く続き、来年の春にすべての工事が終了する予定です。工事期間中は、騒音、一部店舗の休止、駐車場の縮小など、いろいろご迷惑をおかけしてありますが、ご理解くださいますようお願いいたします。



地域医療支援病院になりました

この5月から、当院は「地域医療支援病院」として東京都から認可されました。この認可は、当院が地域の医療機関と密な連携を行うことにより地域の医療を支える病院と認定されたことを意味します。

医療は一つの病院だけで完結するものではありません。私どもは一人の患者さんに対して、私どもの病院とみなさまのお住まいの近くのかかりつけの先生とがそれぞれ力を合わせて、それぞれの力もてる力を発揮して無駄のない最善の医療を提供していきたいと考えております。ふだんは、みなさまのことをよく知っておられるお近くの医師（ホームドクター、かかりつけ医）にご診療いただき、より高度の専門的な検査や治療が必要だとその先生がご判断になったときには、いつでも私どもの病院でなければできない診療をさせていただきまします。私どもの病院で必要な検査や治療が終われば、またホームドクターのところで治療を継続してお受けいただくこととなります。私どもはこの地域の先生方と長い時間をか

けてこうした良好な連携関係を築いて参りました。今回の認可は、こうした努力が認められたものでもあります。

かかりつけの先生に診ていただくことの利点には、以下のようなものがあります。

- ①お近くで、あなたのことを良くご存知の同じ先生に、いつも診てもらうことができます。
 - ②大きな病院の診療していない時間にも診療をお受けになれます。
 - ③かかりつけの先生からご紹介いただけますと、当院の診療が速やかに進みます。
 - ④かかりつけの先生からご紹介いただけますと、入院ベッドが確実にご用意できます。
- 今回の認可に伴い、当院の外來診療はこれまで以上に紹介患者様中心になりますが、地域の先生方と手を携えて、患者様に最も適した医療を提供してまいります。

「ご質問にお答えします」

【問】順番表示がわかりにくい。診察が順番表示どおりではない。

【お答え】さまたまの検討を重ねて導入したシステムですが、いままでも頂戴いたしました皆様のご意見を踏まえて修正を重ねているところでございます。でも、これで良いと思っているわけではありません。さらに改善してまいりたいと考えておりますので、ぜひご意見をお寄せください。また、受付票に表示されている番号での順番につきましては、ご説明用紙をご用意しております。

診療順につきましては、患者さんのご病状や検査結果待ちなどによって順番が前後する場合があります。ご了承を承りたく存じます。ただ、順番が大幅にずれているような場合には、職員に声をおかけください。



病院の風景

パティオの切り株



新しい外來棟の中庭（パティオ）に、子どもたちが遊んだりしている木の切り株が何個か置かれているのをご存知ですか。これは、今回の建築で切り倒さざるをえなかった樺です。かつては緑深い木立に囲まれた当院も建築の度に多くの樹木を切らざるを得ませんでした。私たちに潤いを与えてくれたこれらの木への感謝を忘れないように、みんなの目につくところに切り株を置くことにしました。

特殊歯科・口腔外科が 開設されました

ながらく歯科を閉鎖しておりましたためにご迷惑をおかけしましたが、4月から、特殊歯科・口腔外科として再開いたしました。この「特殊」は、開業の先生方が行っておられる一般歯科・美容歯科・歯科矯正治療は行わないという意味です。従いまして、当科では口腔外科治療と口腔機能のリハビリテーション、脳卒中や咽頭腫瘍手術後の口腔機能(咀嚼・嚥下・発音)の障害の治療を行ってまいります。また、ご入院中の患者さんの、口腔疾患の診療にもあたります。外来は、完全紹介制・予約患者優先とさせていただきます。地域の皆様のご期待に添えるよう努力してまいります。



女性総合外来が開設されました

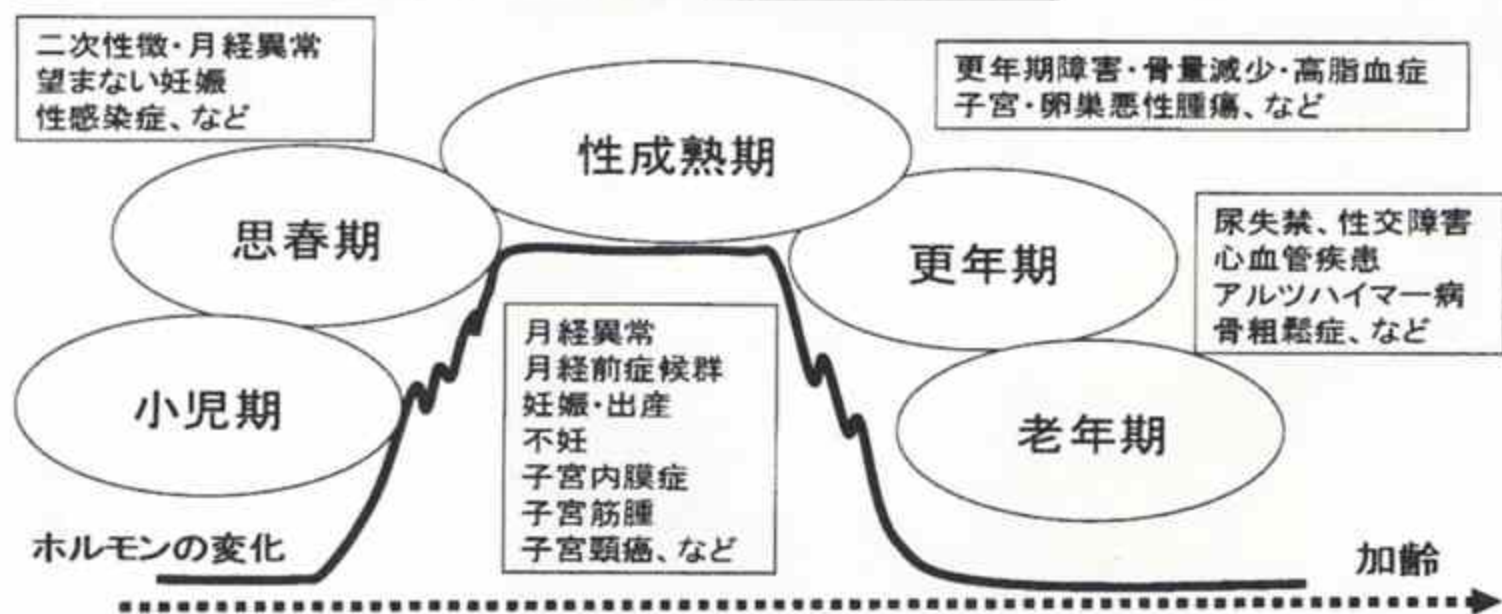
女性と男性は、生命の始まりからそれぞれに授かった性によって決定させた機能をもって人生を歩むこととなります。表面的な身体の特徴はもとより、生命維持のための精神・身体機能を調整するシステムに、また生活の質の基盤となる社会・文化の面にも、男女それぞれの特殊性が見られます。

ヒトは、誕生から生命の終焉を迎えるまで、たえず加齢の過程を進んでいきます。女性では、おもに卵巣機能の変化に伴ういくつかの節目があり、それぞれのステージに特有の健康問題があります。当院の女性総合外来では、各年代の女性における健康問題の特殊性と背景をもとに、疾患の検索と、精神・身体両面を含めた全人的な視点に立った対策を行い、かつ、女性自身の生涯にわたる疾患予防と健康増進への取り組みのお手伝いをいたします。

担当医師

産婦人科顧問 麻生武志(前・東京医科歯科大学医学部教授/周産・女性診療科長、前・日本更年期医学会理事長)
心療内科・精神科部長 仲谷 誠
看護師 臨床心理士 栄養士
詳しいことは、産婦人科外来にお尋ねください。

女性の生涯における健康問題



- ◆女性は、生理的ライフステージによって、ホルモンの状態が大きく変化する。
- ◆女性には、ホルモンの変化に伴う病気が多い。
- ◆近年女性の社会進出が進んできたため、女性の病気が変化してきた。



皮膚科
湊原 一哉



精神科
仲谷 誠



歯科
道脇 幸博

新任部長

ニュース

武蔵野市地域医療連携
フォーラムが開催されました。

武蔵野赤十字病院・武蔵野市医師会・武蔵野市共催の武蔵野市地域医療連携フォーラムも第4回となりました。今回は「せき・たん・息切れには要注意」として成人の呼吸器疾患をテーマとして、当院呼吸器科の吉澤正文部長や看護師・理学療法士、武蔵野市医師会の友利千之副会長、武蔵野市環境生活部などの講演とパネルディスカッションが行われました。約250名の市民が参加されました。来年4月の第5回は「大腸がん」を予定しています。

コンサートが開かれています

当院では、患者のみならず楽しんでいただくために定期的にコンサートを開催しております。写真は昨年12月のクリスマスコンサートのもので、その後も2月25日「ヒーリングコンサート」、5月8日「赤十字デーコンサート」、5月11日「春の七色コンサート」、6月4日「世代をこえて夢のコンサート」、7月16日「サンデーコンサート」と開催しております。

今後、10月に「ヒーリングコンサート」、12月にクリスマスチャリティコンサートを予定しています。ご期待ください。



よろしくお願いたします。

4月には、例年通り多くの新しい職員を迎えることになりました。この中には、20倍の選抜試験を通った新研修医12名もおります。新社会人も多く、至らぬところもあるかと思いますが、ご指導くださいますようお願い申し上げます。



武蔵野赤十字病院 基本理念

「愛の病院」4つの愛

病む人への愛

同僚と職場への愛

地域住民と地域への愛

地球、自然、命への愛

武蔵野赤十字病院

〒180-0022 武蔵野市境南町1-26-1

0422-32-3111

<http://www.jrc.musashino.or.jp>

印刷：ムサシプレス株式会社